

含まれる。また、彼らが 力を得ることの出来るよう、また外的な がある者として祝福されるよう祈り、また 世的 精神的な事柄について助言し、彼らが されているときにもその 判のみならず、 、家族、 利、 心事について守ることである。そして彼らが抑 を受けないう、 利を享受することの出来るように援助することである。 11

非ムスリムへのこうした 遇に する神の指令は、ムスリムによって真 に受け止められました。それは朗 するだけのための ではなく、行 に移すための神の御意だったのです。言者（神の慈悲と祝福あれ）自身、最初に神の指令を 行に移しており、彼に いてカリフ、そして信仰者からなる一般大 がそうしたのです。言者の からは、こうした の非ムスリムとの 容な共存の 面が多く て取れます。彼の 人には何人かの非ムスリムがおり、言者は彼らに 切にし、お互いに り物を交わしていました。言者は彼らが病 のときにはは舞い、それ以外のときには商取引をしていました。また 言者が定期的に喜 をしたユダヤ教徒の家族もあり、ムスリムたちは 言者の死 も彼らに喜 をし けま²した

エチオピアからのキリスト教徒の代表 がマディ ナを した 、言者は彼のモスクを彼らのために 放して 待し、彼自身も彼らへ食事を びました。彼はこう述べています。

??...?

ここでは、彼らの一部がマッカでの迫害を逃れてアビシニアへ移住した 、教友たちが 庇 を与えられた件が言及されています

。その他、ザイド ブン サナというユダヤ教徒の男が 言者の元に の に れたとき、言者の上着を掴み、言者を自分の の方へ力づくで引き寄せ、こう言った出来事もありました。「ムハンマドよ、お前らはいつ私への返 をするのだ？

お前の部族バヌ ムッタリブはいつになれば期限内に借金を返 するようになるのだ？」言者の教友の一人ウマルは してこう言いました。「神の よ、お前が神の 言者に して言い放ったことを、私は本当に耳にしたのか？

真理をもって彼をお遣いになったお方にかけて誓うが、彼が私をお咎めになることを私が恐れていなければ、私は を いてお前の首を切断しているところだぞ！」言者は落ち着いてウマルの方を やり、 やかにこう しました。

のだ。我々はそうした事を一切容しない。我々の法の前には全人は平等であり、ユダヤ教徒にし事や侵略をく者に、我々は神の助けによるを加える。ここで我々が述べる令は、常に知られてきたものと同じ既定の法である。我々がこの令を行したのは、ただユダヤ教徒たちに害を及ぼそうとする者たちへの警告とし、彼らがより大きな安心感を得、彼らへ危害を与えようとする者たちにそれを思いとどまらせるためである。

」⁷

ルノは、ムスリムによる非ムスリム少数派への大公正な遇を知した西洋の史家の一人です。彼はこう言しています。

「イスラム化していたスペインにおけるムスリムの都市では、非ムスリムは最大限の遇を受けていた。そのお返しとして、非ムスリムはムスリムのに敬意をい、自分たちの子供に割礼を施し、豚肉の消を慎んでいたのである。」⁸

Footnotes:

¹ Al-Qarafi, *'al-Furooq,'* vol 3, p. 15

² Abu Ubayd, *al-Amwaal,* p. 613

³ Ibn Hamdun, *'at-Tazkira al-Hamduniyya,'* vol. 2, p. 95

Siba' i, Mustafa, *'Min Rawai Hadaratina,'* p. 134

⁴ Ibn Kathir, *'al-Bidaya wal-Nihaya,'* vol 2, p. 310

⁵ Abu Yusuf, *Kitab al-Kharaj,* p. 86

⁶ サヒフ ブハリ。

7

Qaradawi, Yusuf, '*al-Aqaliyyat ad-Diniyya wa-Hal al-Islami*,' p. 58-59

8

Quoted by Siba' i, Mustafa, '*Min Rawai Hadaratina*,' p. 147

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/index.php/jp/articles/394>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。